

令和8年度 取手市立取手第二中学校 始業式 式辞

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。改めまして4月1日に新しく取手二中の校長として赴任しました丸山です。今日は、私がこの取手二中で皆さんと一緒に目指したいことについて、話をします。

私は、この取手二中の生徒のみんな、お家の方、地域の方々、そして先生たち。取手二中に関わるすべての人が幸せになってほしいと本気で考えています。これを実現するために、私がこの取手二中で、みんなと一緒に目指したい唯一無二のゴール。それは、「みんなの笑顔のために」です。

この言葉を今日ここにいる全員、いや残念ながら今日お休みになってしまったみんなの仲間も含めた全員の合言葉にしたい。

生徒のみんなが「学校が楽しい」と笑い、先生方が「ここで働けてよかった」と笑い、保護者や地域の方々が「二中でよかった」と笑顔になる。みんなのあらゆる活動が、この「みんなの笑顔のために」につながってほしいと願っています。そして、私は、「みんなの笑顔のために」がんばることが、最終的には自分自身の幸せにつながると、そう信じています。

【ステージを降りて生徒2人に「みんなの合言葉にしていいますか？」と聞く。先生にも聞く。】

ありがとうございます。それでは、今日から取手二中に関わるすべての人は、「みんなの笑顔のために」を合言葉にしていきましょう。

さて、ここで突然ですがクイズです。これから4枚の女性の写真を見せます。4枚のうち3枚はAIが作った偽物で、1枚だけが本物です。本物を当ててください

Aだと思う人？（挙手）

それでは、正解を発表します。

正解は・・・

正解はCです！当たった人、おめでとう！外れた人も多いですね。

ぱっと見ただけでは、もう本物とAIの区別がつかないくらい、ものすごいスピードでAIが進化し、急速に普及しています。今日は、そんなAIの時代だからこそ、

みんなに大切にしてほしい2つの力について話します。

1つ目は『考えて、考えて、考え抜く力』です。

私の大好きなサッカー日本代表のオシム元監督は、「人は、死ぬまで考え続けなければならない」という言葉をのこしました。自ら悩み、葛藤し、納得のいく答えを導き出すこと。この「考え抜く力」は、実は「人の気持ちを考える力」、つまり「思いやり」に直結しています。相手の痛みを想像し、どうすれば共に幸せになれるかを考え抜く。それこそが、どんなにAIが進化しても決して真似できない、人間だけがもつ最強の力だと私は信じています。どうぞ、考えて、考えて、考え抜くことで、思いやりあふれる人になってください。

みんなには、何事も自分事として考えることを習慣化してほしいと願っています

2つ目は『レジリエンス』です。

レジリエンスとは、たとえ困難や逆境にぶつかっても、しなやかに立ち直る『折れない心』のことです。中学校生活では壁にぶつかることもあるでしょう。でも失敗を恐れず、転んでもそこから学び、また立ち上がる力を身につけてください。人は誰でも失敗します。しかし、失敗しても、そこで失敗に折れない心・負けない心で立ち上がっていくことで、多くの学びや成長を得られます。

失敗に折れない心・負けない心を身に付けてください。

この「考え抜く力（思いやり）」と「レジリエンス」。この2つをみんなが、「みんなの笑顔のために」がんばることで、自分だけでなく、取手二中に関わるすべての人を幸せにできると私は信じています。

今日はみんなに、こんなプレゼン方法もあるんだということを見てもらいました。これまでの枠にとらわれない、正解のない自由な発想や表現を大切にしているほしいという、先生たちみんなの願いです。みんなの参考になったら、すごく嬉しいです。

誰もが安心して過ごせる、最高に幸せな学校。取手二中に関わる全ての人々が幸せを感じられる学校。「みんなの笑顔のために」を合言葉に、みんなで一緒にがんばっていきましょう。

以上で私の式辞とします。